

新中期経営計画【2022-2024年】 【2021-2023年】の改訂

2022年2月10日



OATアグリオ株式会社

証券コード：4979

◆企業理念と3つのアグリテクノロジー

ESG（環境、社会、ガバナンス）経営、SDGs（持続可能な開発目標）への積極的な取り組み



『企業理念』
食糧増産技術(アグリテクノロジー)と真心で
世界の人々に貢献します。

◆アグリテクノロジーを極める

食糧増産が必須

**エネルギーの
大量消費**

自然破壊

農薬使用による
薬剤耐性の発生

**地球温暖化
局所的な気候変動**

**砂漠化・塩害・水質汚染
世界の土壌の3割が劣化**

新規開発を行っている
農薬メーカーは約千社
の中で日欧米の20数社

作物へのストレス
増大

国連が2015年を
国際土壌年とする

**新規薬剤開発
防除技術**

**作物の免疫力の向上
バイオスティミュラント**

**必要最小限の水と肥料
施肥灌水技術**

※ 2021年2月策定 新中期経営計画【2021-2023年】
2年目の数値目標を1年前倒して達成

金額：百万円

科目	2020年12月期 連結業績	2021年12月期 連結計画 【新中計1年目】	2021年12月期 連結業績	2022年12月期 連結業績予想 【新中計2年目】	2023年12月期 連結業績予想 【新中計3年目】
売上高	20,288	21,288	22,657 <small>前年比 111.7% 計画比 106.4%</small>	22,080	23,440
営業利益	1,512	1,594	1,982 <small>前年比 131.0% 計画比 124.3%</small>	1,990	2,450
経常利益	1,346	1,419	1,969 <small>前年比 146.3% 計画比 138.7%</small>	1,780	2,250
親会社株主に帰属する 当期純利益	837	908	1,443 <small>前年比 172.3% 計画比 158.9%</small>	1,030	1,410

新中期経営計画【2022-2024年】

＜さらなる挑戦＞

ネガティブ（リスク）：

- ◆ 新型コロナ禍継続（2020年～2022年継続）
- ◆ 国内人口減、耕作地縮小
- ◆ 原油資材高騰
- ◆ 中国肥料原料輸出厳格化
- ◆ 海上輸送フレートチャージの高騰 .etc



- 国内市場低迷
- 利益率の低下
- 販売機会の喪失

ポジティブ（チャンス）：

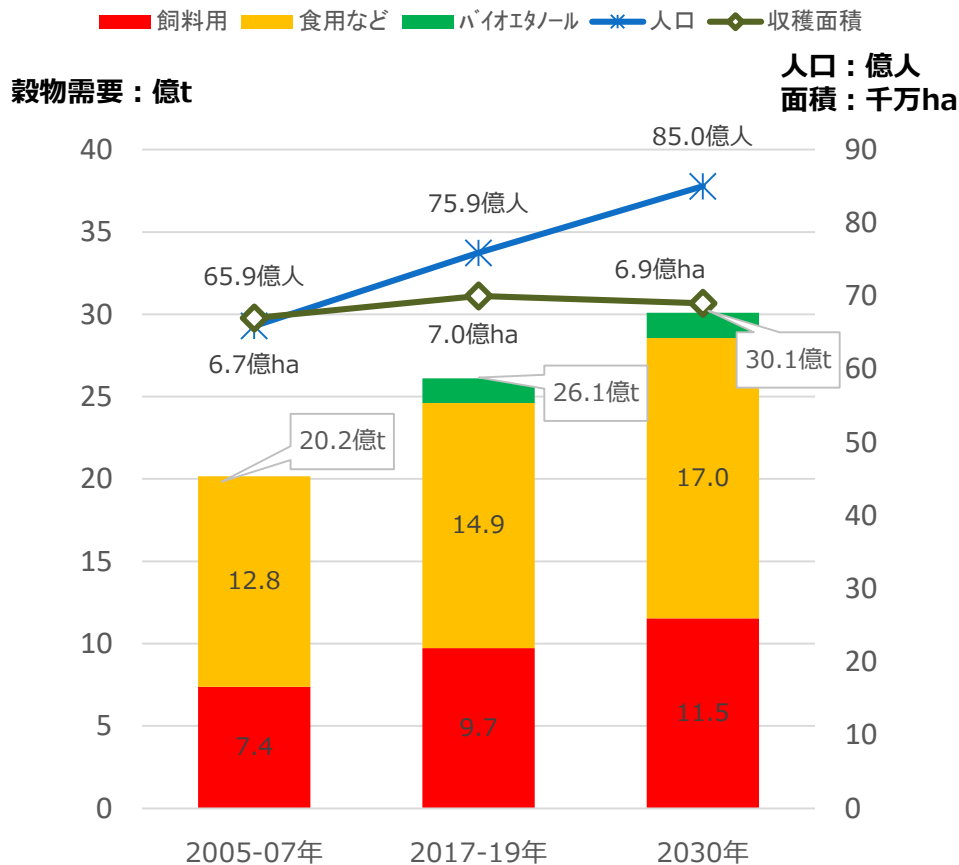
- ◆ 世界人口90億人まで増加（2050年：FAO）
- ◆ 世界の農薬市場は年々増加。
2020-2025年で年平均2.3%増と予想
- ◆ みどりの食料システム戦略（農林水産省発表）
～ 2050年 カーボンニュートラルへの対応
 - ・化学農薬の使用量を50%低減
 - ・化学肥料の使用量を30%低減
 - ・有機農業の取組面積の割合を25%（100万ha）に拡大
- ◆ 東証の市場再編 プライム市場上場維持基準の厳格化



OATアグリオグループとして、
『アグリテクノロジー』を
極めることにより、チャンスへ！

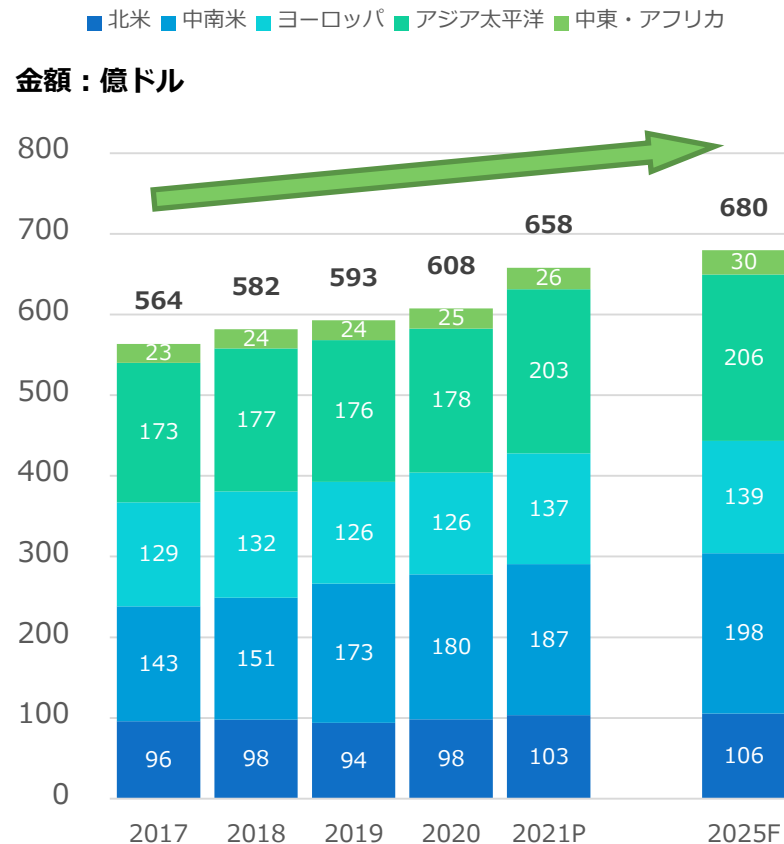
◆世界の人口推移、穀物需要と農薬市場

人口推移と穀物需要



出典：世界の食料需給の動向と中長期的な見通し
(令和3年3月：農林水産政策研究所)

世界の農薬市場



出典：AgbioInvestor

- ◆ 人口増・穀物需要増に対して耕地面積は横ばい ⇒ 単収増加が必要
- ◆ 農薬市場が拡大 ⇒ 2020-2025年で年平均2.3%増予測

◆アグリテクノロジーを極める

◆みどりの食料システム戦略概要

(農林水産省発表)

持続可能な食料システムの構築に向け、「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取組とカーボンニュートラル等の環境負荷軽減のイノベーションを推進

◆2050年までに目指す姿

1. CO₂ゼロエミッション化

◆省エネ型施設園芸の導入

2. 化学農薬の使用量を50%低減

- ◆総合的病害虫・雑草管理 (IPM) の普及
- ◆バイオスティミュラントを活用した革新的作物保護技術の開発

3. 化学肥料の使用量を30%低減

- ◆作物の生育タイミングに合わせた肥効調整型肥料の高度化

4. 有機農業の取組面積の割合を25% (100万ha) に拡大

OATアグリオ企業理念
“アグリテクノロジーを極める”

栽培トータルソリューションサービス提供
「スマート農業」の普及

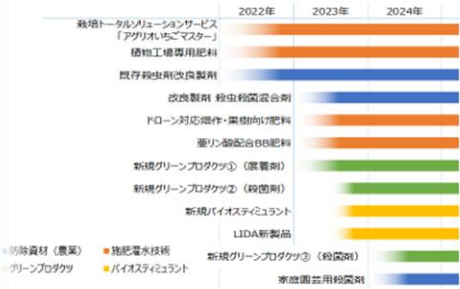
グリーンプロダクツの普及促進
バイオスティミュラント事業の促進

施設園芸用肥料の促進
栽培トータルソリューションサービス提供

有機質肥料活用型養液栽培
「プロバイオポニックス」の活用
※新規JAS規格申請中

◆ 新中期経営計画【2022-2024年】活動方針

5. 新製品市場導入タイムライン



市場導入予定の新製品群、注力分野にバランス良く導入される予定

グローバルシナジーの最大化

グローバルでの製品展開

◆ 殺菌剤：ダニサラバ



◆ 殺菌剤：ガッテン



◆ 肥料製品



新製品の投入

~2022年

~2023年

~2024年

スマート農業へ参入

【アグリおいちごマスター】

◆ OAT栽培トータルソリューション新サービス「アグリおいちごマスター」

スマート農業「アグリおいちごマスター」
OAT栽培トータルソリューションサービス「アグリおいちごマスター」
OATグループが持つ、最新の農業技術と、豊富な経験を活かして、スマート農業の推進に貢献します。
OATグループは、最新の農業技術と、豊富な経験を活かして、スマート農業の推進に貢献します。

◆ 『さちのか』について

- 福岡県の旧森林水産畜野菜・茶業試験場久留米支場（※：農産物検査九州中央検定センター）において育成された育
- 2000年に品種登録。品種「とよのか」に「アイベリー」の交配により育成
- 「とよのか」の食味と香りおよび、「アイベリー」の果実が大きくて着色のよいところを両方兼ねながら、糖度高と日持ち性に優れた「さちのか」として食味が際立っている
- 『さちのか』の特徴は、やや大きめの長円型で、果皮は光沢のある濃い赤色。果肉は淡紅色。中心の高筒色。酸味がやや甘みと目みとのバランスも良く、歯ごたえもやわらか
- 果肉は硬めで、輸送性と日持ち性に優れる。他のイチゴに比べて、ビタミンCが多く含まれている。（100g当たり約80mg）



◆ 新中期経営計画【2022-2024年】主な取り組み①

◆ 成長ドライバーへの取組みを事業成長の柱とし、新製品の投入、スマート農業への参入、グローバルシナジーの最大化に注力

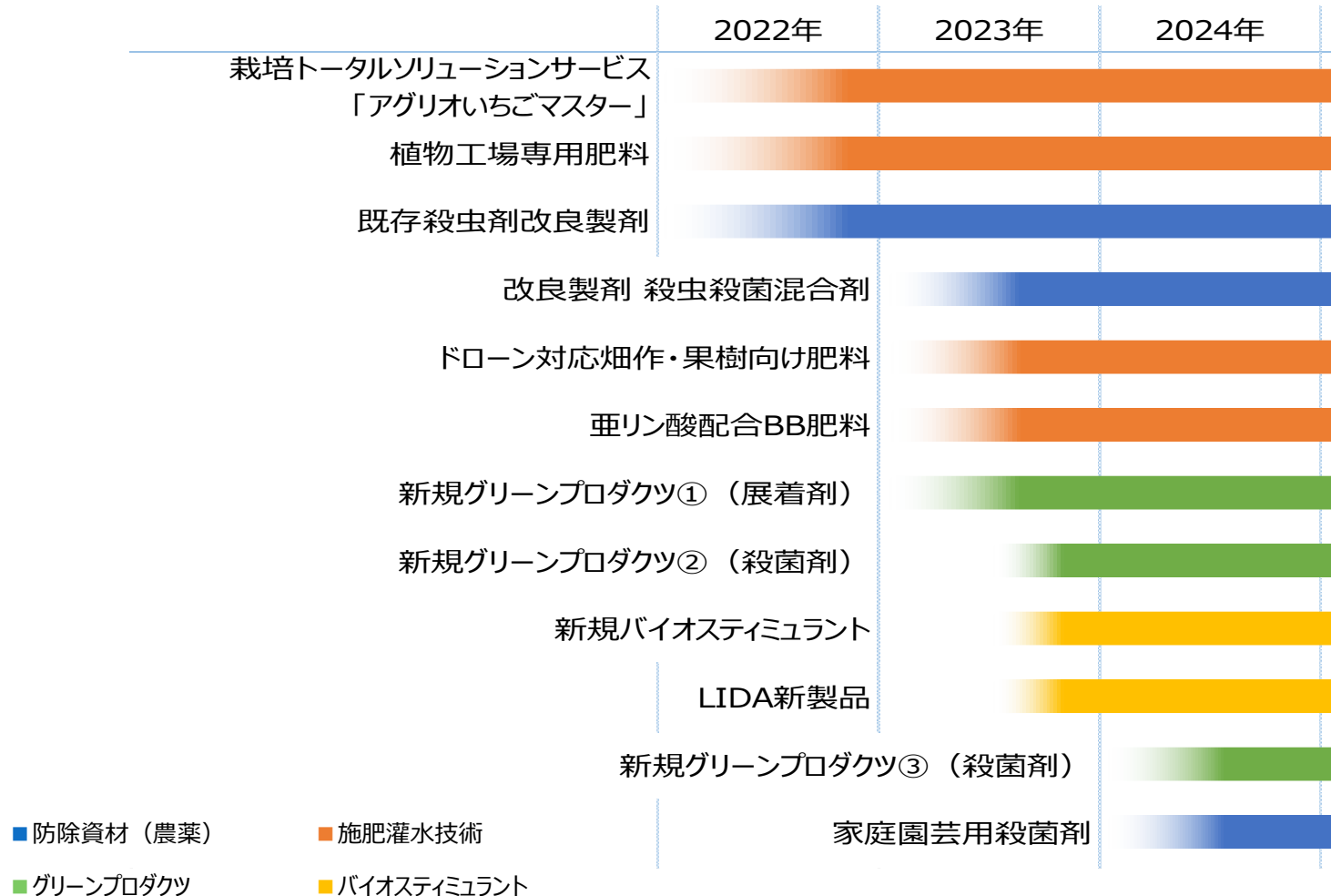


◆ 新中期経営計画【2022-2024年】主な取り組み②

◆ 企業文化の構築、人や環境に優しい持続可能な農業に貢献できる経営を目指し、企業価値の向上を図る



◆ 新製品市場導入タイムライン



市場導入予定の新製品群、注力分野にバランス良く導入される予定

◆新中期経営計画

<さらなる挑戦>



2020-2024年比

売上高増加率 : 125.6%

営業利益増加率 : 191.3%

実績

予想

新中計

リニューアル計画

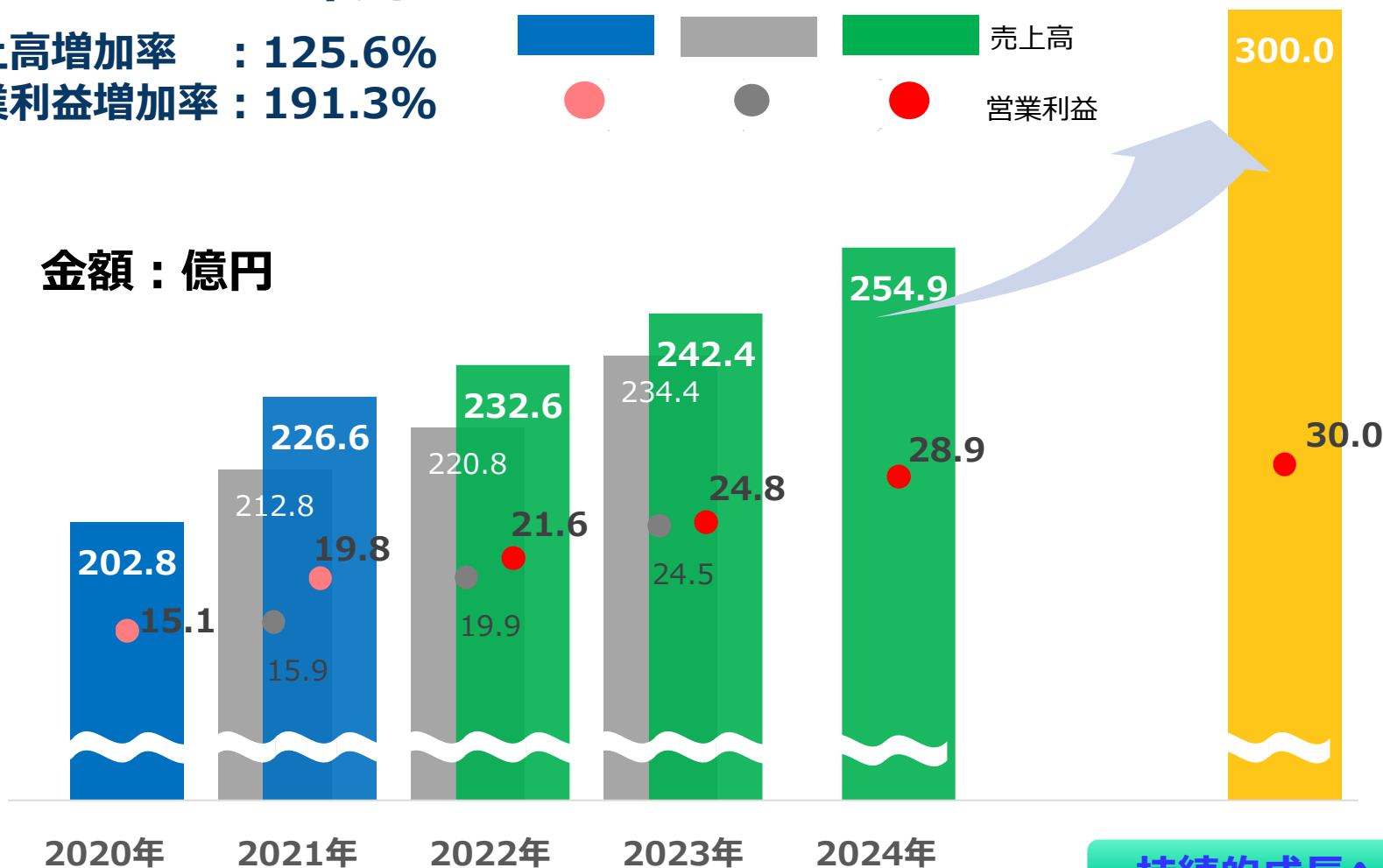


売上高



営業利益

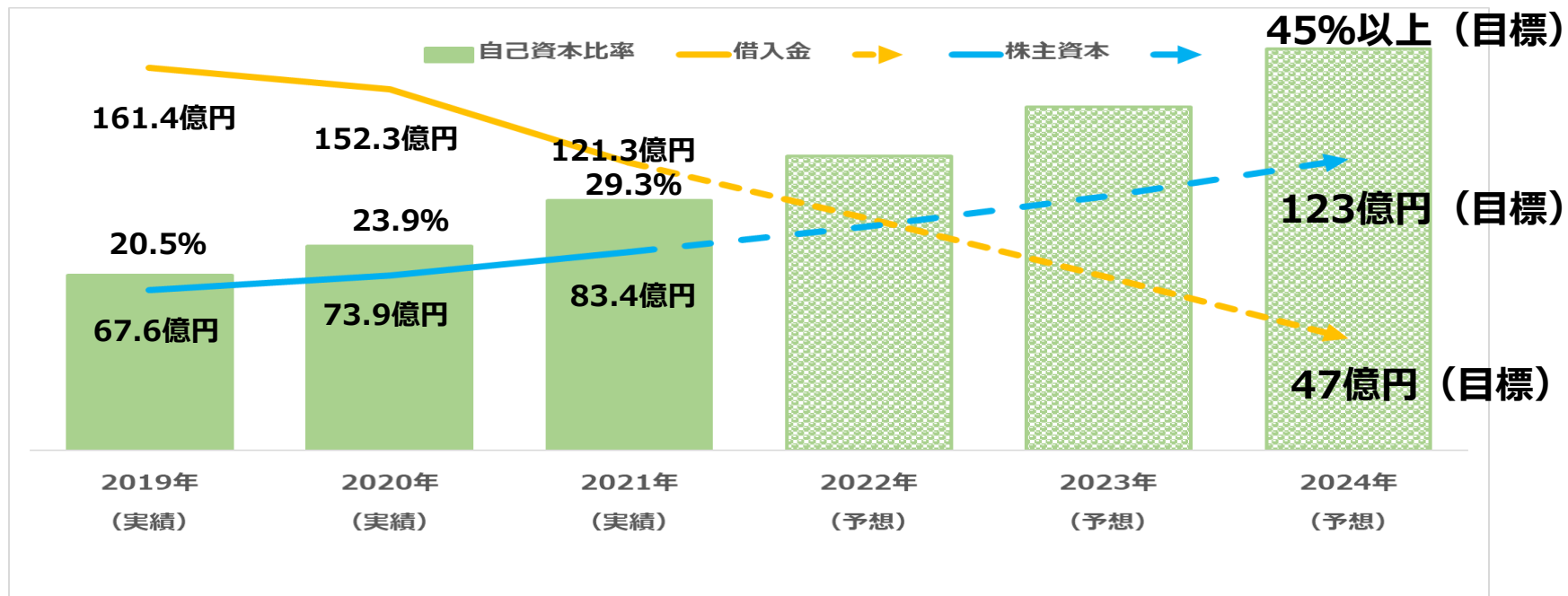
金額 : 億円



持続的成長へ



◆財務目標の明確化



	2020年実績	2021年計画	2021年実績	2022年計画	2023年計画	2024年計画
連結ROE	12.9%	13.8%	19.0%	15.0%	15.6%	16.6%

- ◆ 自己資本比率 : **2024年目標 45%以上**
- ◆ 連結ROE **2024年目標 15%以上**
- ◆ 剰D/Eレシオ **2024年目標 0.1**

◆ 新中期経営計画 (連結)

	2020年実績	2021年計画	2021年実績	2022年計画	2023年計画	2024年計画
売上高	202.8億円	212.8億円	226.5億円	232.6億円	242.4億円	254.9億円
営業利益	15.1億円	15.9億円	19.8億円	21.5億円	24.8億円	28.9億円
経常利益	13.4億円	14.2億円	19.7億円	20.3億円	23.6億円	27.9億円
親会社に帰属する当期純利益	8.3億円	9.0億円	14.4億円	13.2億円	15.6億円	19.0億円
売上高営業利益率 (%)	7.5%	7.5%	8.7%	9.3%	10.2%	11.3%
連結ROE	12.9%	13.8%	19.0%	15.0%	15.6%	16.6%

新中期経営計画【2022-2024年】

< 具体的な施策 >

- ◆人や環境に優しい 「グリーンプロダクツ」
 - 新製品開発上市・準備
- ◆バイオスティミュラント事業
 - 登録国のグローバル拡大
登録作物の拡大
- ◆施設園芸分野での潜在需要の掘り起こし
 - 新規ビジネスモデルの提案
パッケージ提案の具体化
- ◆グローバルでの製品展開
 - 既存農薬/肥料製品での拡大

◆人や環境に優しい「グリーンプロダクツ」

OATアグリオのグリーンプロダクツ製品の定義

農薬登録を有する天然・食品添加物由来または有機JAS適合農薬など使用回数に制限のない安心安全な環境にも優しい防除資材

グリーンプロダクツの求められる理由

天然・食品添加物由来の安心安全な防除資材のため

使用回数に制限がなく、安心して使用できる防除資材のため

薬剤抵抗性が病害虫に付きにくい防除資材のため

天敵にやさしくIPMに、適合する防除資材のため



◆OATアグリオのグリーンプロダクツラインナップ



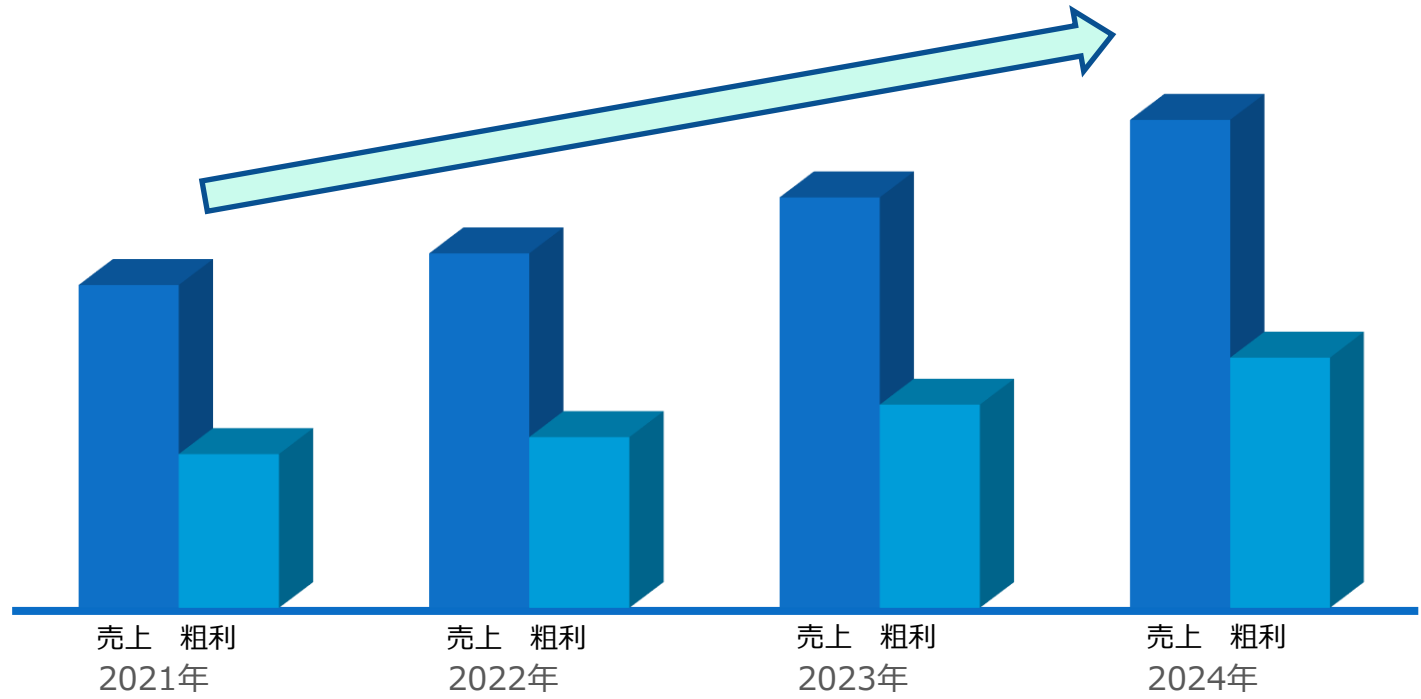
No.	製品名	有効成分	有機JAS適合 有無	使用回数
1	カリグリーン	炭酸水素カリウム	有機JAS適合	制限なし
2	トモノール	マシン油95%	有機JAS適合	制限なし
3	トモノールS	マシン油97%	有機JAS適合	制限なし
4	オレート液剤	オレイン酸ナトリウム		制限なし
5	アカリタッチ乳剤	プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル		制限なし
6	サフオイル乳剤	調合油	有機JAS適合	制限なし
7	スラゴ	リン酸第二鉄	有機JAS適合	制限なし
8	スクミンベイト3	リン酸第二鉄	有機JAS適合	制限なし
9	トアローCT水和剤	BT菌産出毒素	有機JAS適合	制限なし
10	トアローフロアブル	BT菌産出毒素	有機JAS適合	制限なし
11	イオウフロアブル	硫黄	有機JAS適合	制限なし
12	ポテガード	塩基性塩化銅		制限なし



**12種類の製品群で展開
新たに3製品を順次市場投入予定**

◆人や環境に優しい「グリーンプロダクツ」分野の成長

2021～2024年売上・粗利推移予測



グリーンプロダクツ

21年実績 vs. 24年計画

売上 151%

粗利 162%

◆ バイオスティミュラント事業

OATアグリオのバイオスティミュラント製品の定義

バイオスティミュラントは植物が本来持つ免疫力を高め、耐寒性・耐暑性・病害虫耐性及び成長を促す物質や技術

バイオスティミュラント製品が求められる理由

免疫力向上で収量増、品質向上

植物のストレス耐性の増強

果実の糖度、色、結実の品質の向上

植物体内の水バランスを調整、改善

栽培土壌の物理性改善



◆OATアグリオのバイオスティミュラント製品

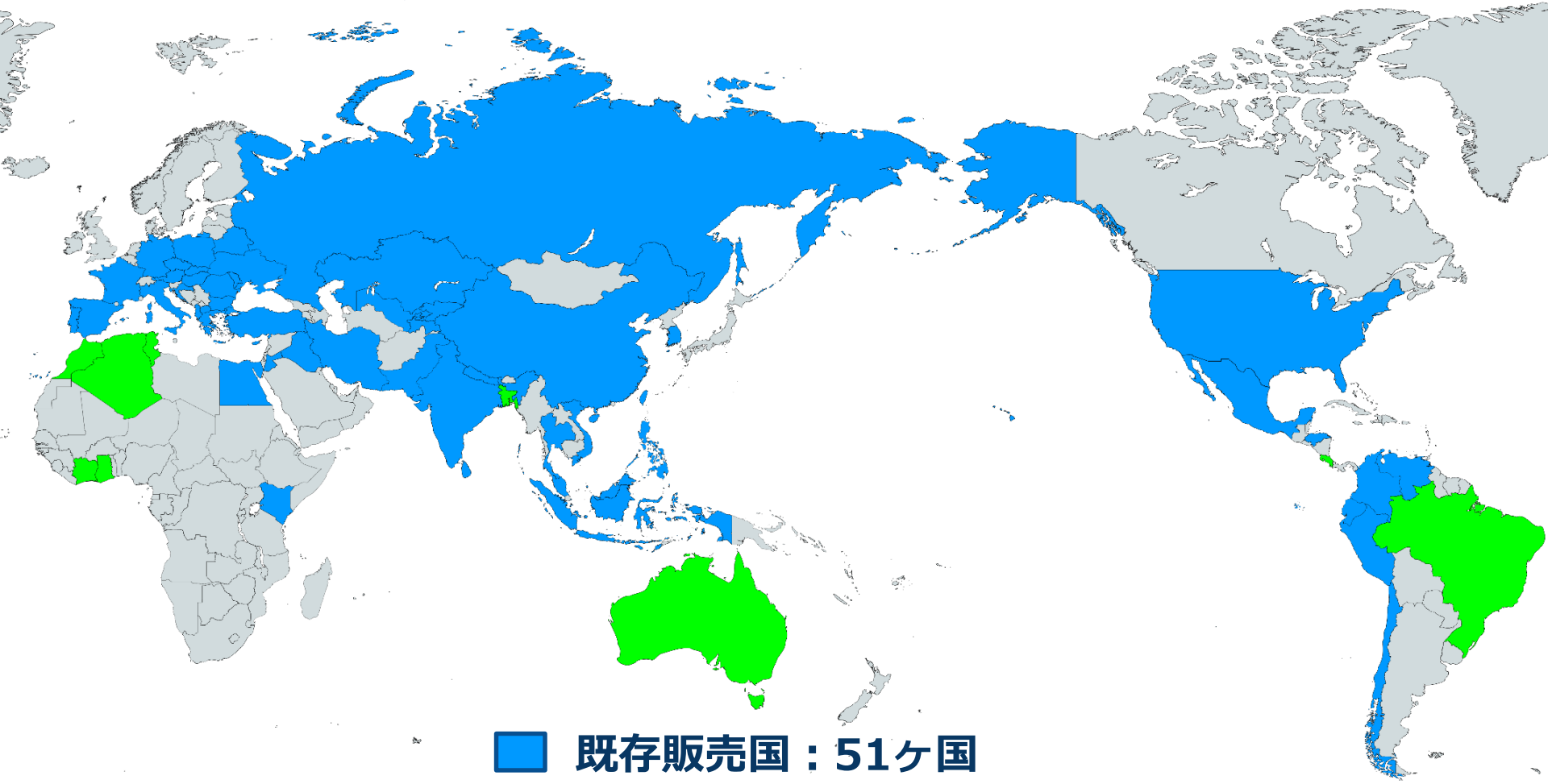
No.	製品名	有効成分	期待される効果	使用回数
1	リダバイタル	甜菜糖密・アミノ酸	光・温度のストレス軽減	制限なし
2	アルガミックス	海藻・糖	乾燥・塩害のストレス軽減 着果向上	制限なし
3	フルボディ	腐植物質（フルボ酸/フミン酸）・海藻	地下部育成・促進 土壌改良	制限なし
4	ポテトール	植物由来物質	気孔の開口をコントロール	制限なし
5	鉄カトレプラス	トレハロース・鉄	土壌中からの鉄分吸収を促進	制限なし
6	サンピ シリーズ	有機酸・糖	気候ストレスを軽減・栄養分	制限なし
7	ATONIK	ニトロフェノール類	非生物的・生物的なストレスからの軽減	



2新製品を投入し、ラインナップをさらに拡充

◆ バイオスティミュラント事業の拡大

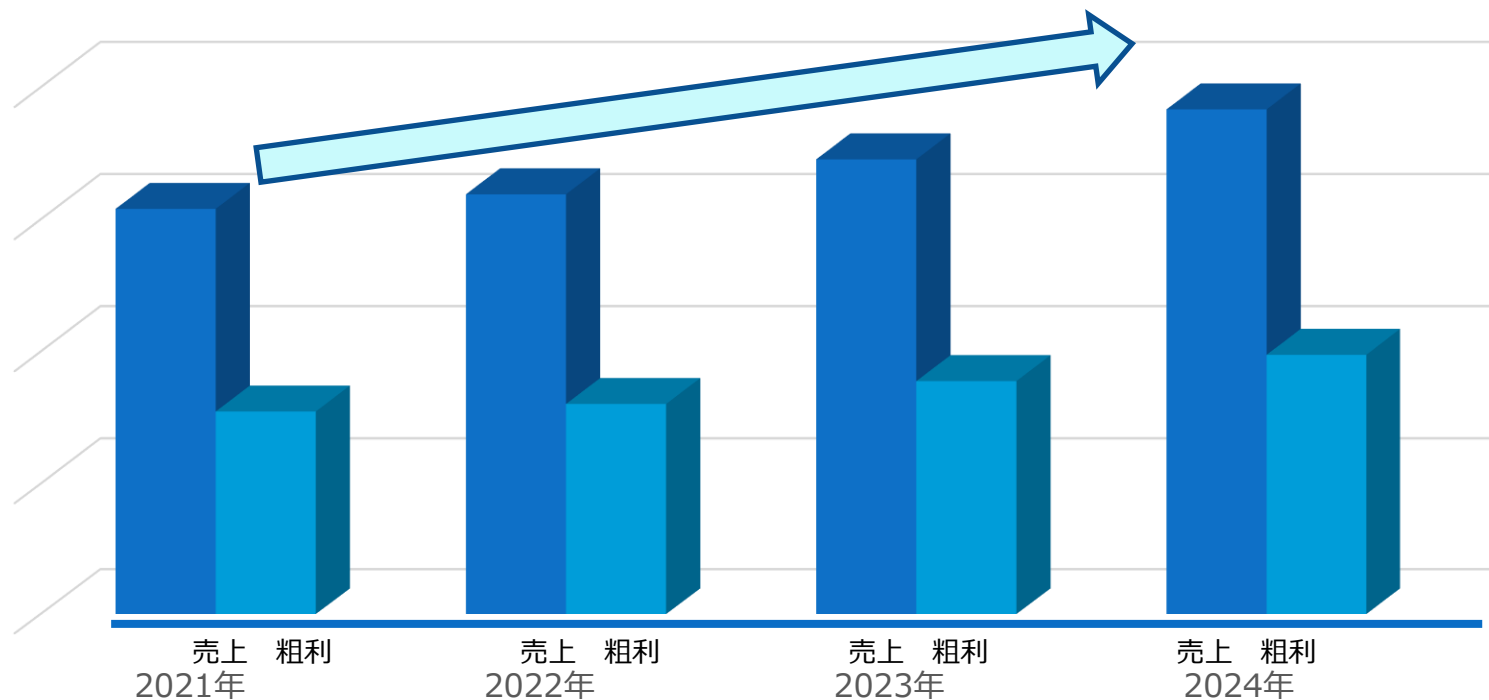
➤ ATONIKの拡販



■ 既存販売国 : 51ヶ国
■ 販売予定国 : 9ヶ国

◆ バイオスティミュラント事業の普及拡大

2021～2024年売上・粗利推移予測



バイオスティミュラント製品 21年実績 vs. 24年計画

売上 124%

粗利 128%

◆施設園芸分野での潜在需要の掘り起こし

◆施設園芸栽培分野に貢献できるOATアグリオ製品

➤ 施設園芸用肥料

OKFシリーズ、養土耕肥料、タンクミックスシリーズ

➤ 防除資材

サフオイル・アカリタッチなどの“グリーンプロダクツ”製品

➤ バイオスティミュラント製品

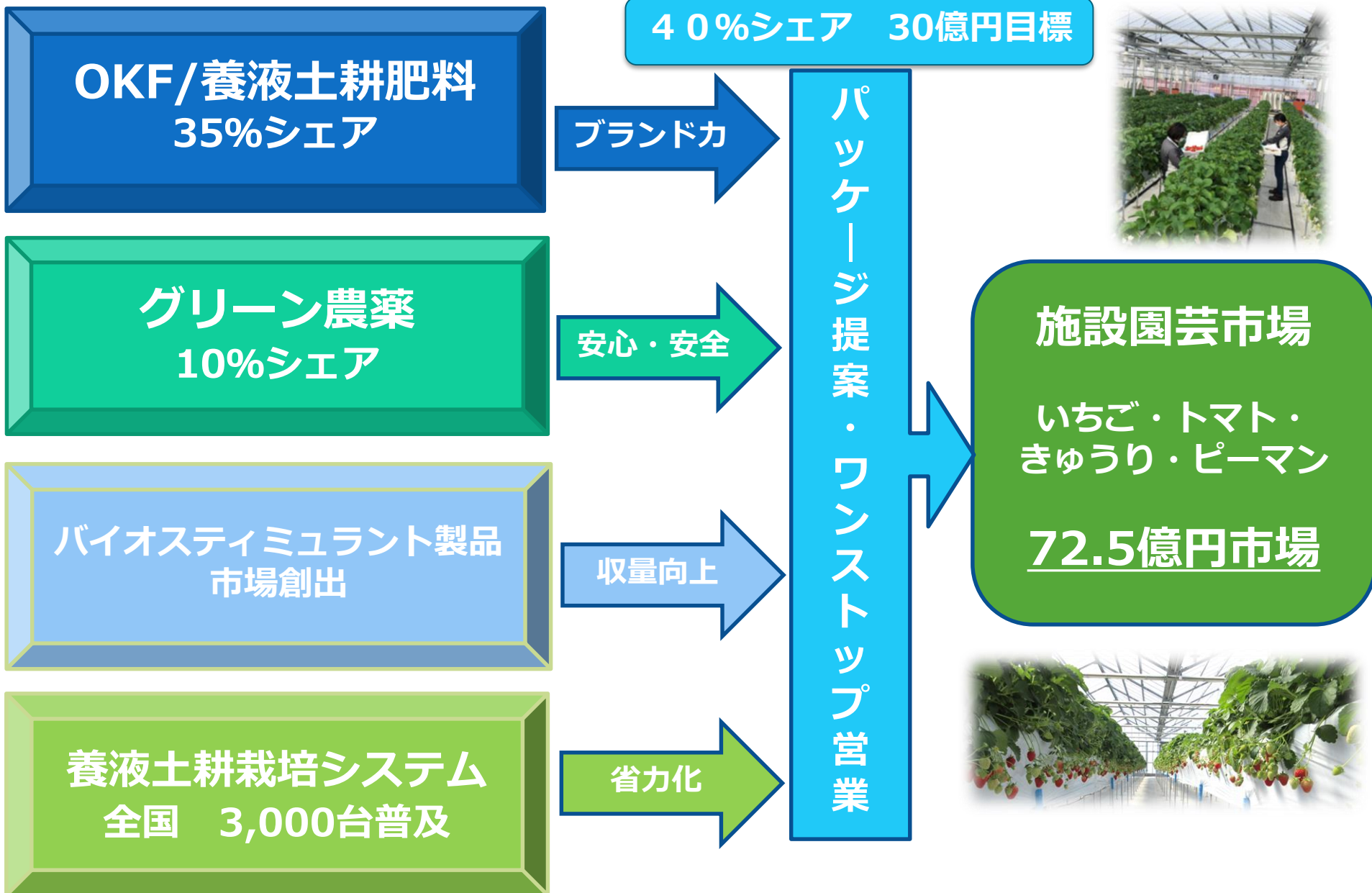
LIDA 3製品

➤ 養液土耕栽培システム

設備・システム



◆施設園芸市場（72.5億円）へのパッケージ提案



◆ 「OAT栽培応援マニュアル」

OAT アグリオのトマト栽培応援マニュアル

※画面は作成途中のもの（部分）

農薬のトマト・ミニトマトでの登録内容【抜粋】

サフオイル乳剤 殺虫・殺ダニ剤

【特長】安全な食用の植物油が主成分。物理的に作用する殺虫・殺ダニ剤で、ハダニ類とコナジラミ類の同時防除が可能。

■対象害虫・対象病害・希釈倍数：ハダニ類(300～500倍)チャノコホコリダニ、トマトサビダニ、コナジラミ類、うどんこ病(300倍)
 ■使用液量：100～500 ℓ/10a
 ■使用時期：収穫前日まで
 ■使用方法：散布



ショウチノスケフロアブル 殺菌剤

【特長】2成分の混合により、うどんこ病に対して高い効果を示す。残効性に優れ1シーズン中のうどんこ病防除回数の低減が期待できる。有用昆虫や天敵に対する影響が小さく、IPM体系に有用な資材として使用できる。

■対象病害：うどんこ病・灰色かび病
 ■希釈倍数：2000倍
 ■使用液量：100～300 ℓ/10a
 ■使用時期：収穫前日まで
 ■使用回数：2回以内
 ■使用方法：散布
 ■フルチアニルを含む農薬の総使用回数：2回以内
 ■メバニピリムを含む農薬の総使用回数：4回以内



カリグリーン 殺菌剤

【特長】安全な炭酸水素カリウムが主成分。うどんこ病に対して優れた治療効果を発揮。

■対象病害：うどんこ病(800～1000倍)
 さび病、灰色かび病(800倍)
 ■使用液量：100～300 ℓ/10a
 ■使用時期：収穫前日まで
 ■使用方法：散布




トマト・ミニトマト 農薬防除事例

月	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
促成栽培	作物	A.トマト																																		
	1.サフオイル	×300 コナジラミ発生時に連続散布																																		
	2.サンヨール	×500 うどんこ病、コナジラミ等発生時																																		
	3.オレート	×100 アブラムシ発生時																																		
	4.トアロー水和剤	×500～1000 ヨトウムシ発生初期																																		
	5.トアローフロアブル	×500～1000 ヨトウムシ発生初期																																		
	6.カリグリーン	×800 うどんこ病、灰色かび病発生時																																		
7.ショウチノスケ	×2000 うどんこ病初期発生時																																			
作物	A.トマト																																			
1.サフオイル	定植																																			
	×300 コナジラミ発生時に連続散布																																			
	収穫開始																																			
	作終了																																			

「3つのアグリテクノロジー」をカバーする弊社の特長を生かし、主要17作物について防除・施肥・品質向上を目的とした「栽培応援マニュアル」を提案

抑制型	4.トアロー水和剤	×500～1000 ヨトウムシ発生初期																													
-----	-----------	---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◆OAT栽培トータルソリューション新サービス A-OAT

定額制



OAT栽培トータルソリューションサービス 「アグリオいちごマスター」

おすすめ! 新規就農をご検討の方
土耕から高設栽培に変更をご検討の方
今よりも収量・品質を高めたい方



液肥投入機 & 付帯設備



液肥投入機の遠隔操作 & 環境モニタリングシステム

自動生育診断システム

養液肥料
葉面散布
肥料
(タンクミックスF&B使用)

グリーン農業
(サブオイル乳剤使用)

バイオステイ
ミュラント資材
(LIDA製品使用)

栽培・施肥
マニュアル

栽培相談
窓口

自動生育診断
システムの診断
アドバイス

機器
メンテナンス

環境
モニタリング
(温度・湿度・CO2
湿度センサー、
環境水分析機、
気候観測)

通信料・
サーバ利用料



定額料金に含まれるものおよびサービス

- ①養液土耕システム及び付帯設備の利用 (灌水装置、遠隔操作オプション、温度湿度センサー、土壌センサー)
- ②自動生育診断システムによる栽培アドバイス (毎朝メール配信)
- ③養液栽培用肥料、葉面散布肥料、バイオステイミュラント資材およびグリーン農業を定期的に必要量をお届け
- ④栽培マニュアル、栽培フォローの提供 (栽培に関する、なんでも相談できる窓口を利用できます)
- ⑤通信費・サーバ利用料
- ⑥機器メンテナンス費用

対応品種：さちのか (2023年より、紅ほっぺ、さがほのか、恋みのり、かおりの、かんなんひめを追加予定)

契約期間：3年契約～

契約内容：3年もしくは5年契約終了後に継続して利用延長も可能。契約終了時、システムについては買取も選択可 (契約面積に応じた調整価格にて)。システムのみ買取条件で途中解約可能。契約期間中の機器メンテナンス/修理は無償対応。栽培面積に応じた必要量の肥料・BS・農業の提供、養液管理・栽培マニュアルの提供。通信費・サーバ利用料込み。液肥投入機及び付帯設備の設置・施工は契約者様にてお願いいたします (設置業者をご紹介いたします)。

当社栽培研究センターにおいていちご実証栽培を実施

当社の資材 (肥料、農業およびBS) と栽培技術を用いて、徳島でいちごを栽培しています。生産物は「**ほほえみいちご®**」のブランドで販売しており、市場の評価も受けています。また、この実証圃場は「**GLOBALG.A.P. (グローバルギャップ)**」の認証を取得しています。



安心安全・高収量の追求

- 化学合成農薬を極力使用しない栽培を採用

2019-2020年の栽培で、化学合成農薬の使用回数を15回 (本圃5回、育苗10回) に抑えて栽培をすることができました。ちなみに徳島県の慣行の防除回数は54回と設定されています。この**減農薬栽培**を実現するために、**グリーン農業の使用**、高濃度CO2処理後定植やUV-Bランプなどの最新栽培技術を導入しています。

また、収量は「**さちのか**」という品種で**6.1t/10a**を実現しました。



▶ 生育診断システム OAT栽培研究センター設置 モニタ機



◆ 宮崎県新富町との持続可能な地域農業の振興と発展に関する連携協定を締結（2022年1月25日締結）

- 『アグリオいちごマスター』の実証/実施
遠隔操作&モニタリングと自動診断システムの融合により養液管理を高度に自動化。

『みどりの食料システム戦略』

- ①化学農薬使用50%減、②スマート技術による施肥管理

- 有機質肥料活用型養液栽培（プロバイオポニックス技術を用いた養液栽培）などの循環型栽培の実証/実践

『みどりの食料システム戦略』

- ①化学肥料30%減、②次世代有機栽培の技術確立

- 地域農業の振興に貢献

実証実験用施設



施設全体の左奥に位置する農業エリアでは、再生可能エネルギーを活用した農園、ビニールハウス、研修棟など。企業様のやりたいことを共に実現します。

- ☑ 果実等の観光農園
- ☑ 再生可能エネルギーを活用した農業
- ☑ 企業と連携した実証実験（5Gのデータ管理）
- ☑ 施設内ではモビリティで移動

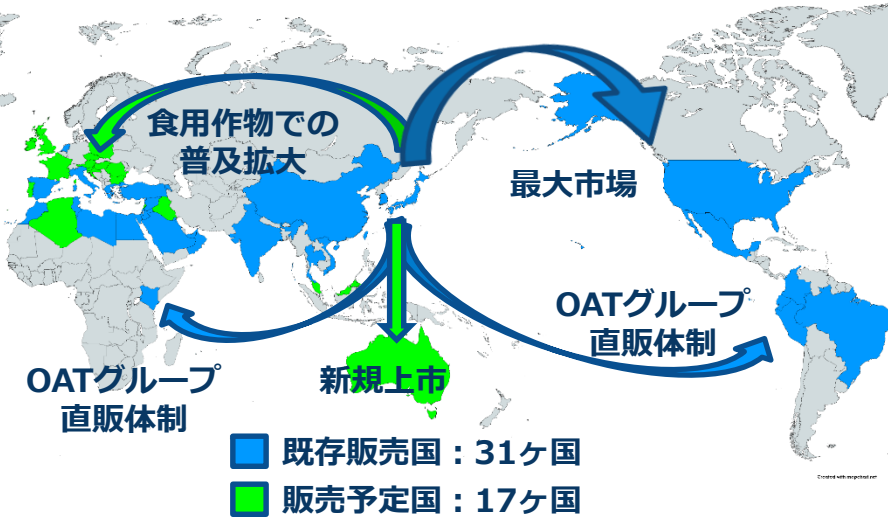
新富町開発事業

構想イメージ図

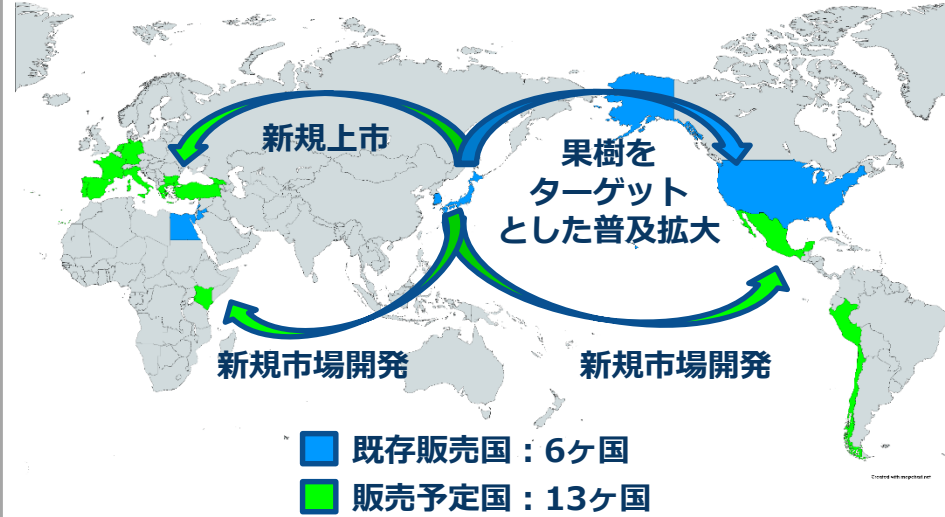


◆グローバルでの製品展開

◆殺ダニ剤：ダニサラバ



◆殺菌剤：ガッテン



◆殺菌剤：カリグリーン(グリーンプロダクト)

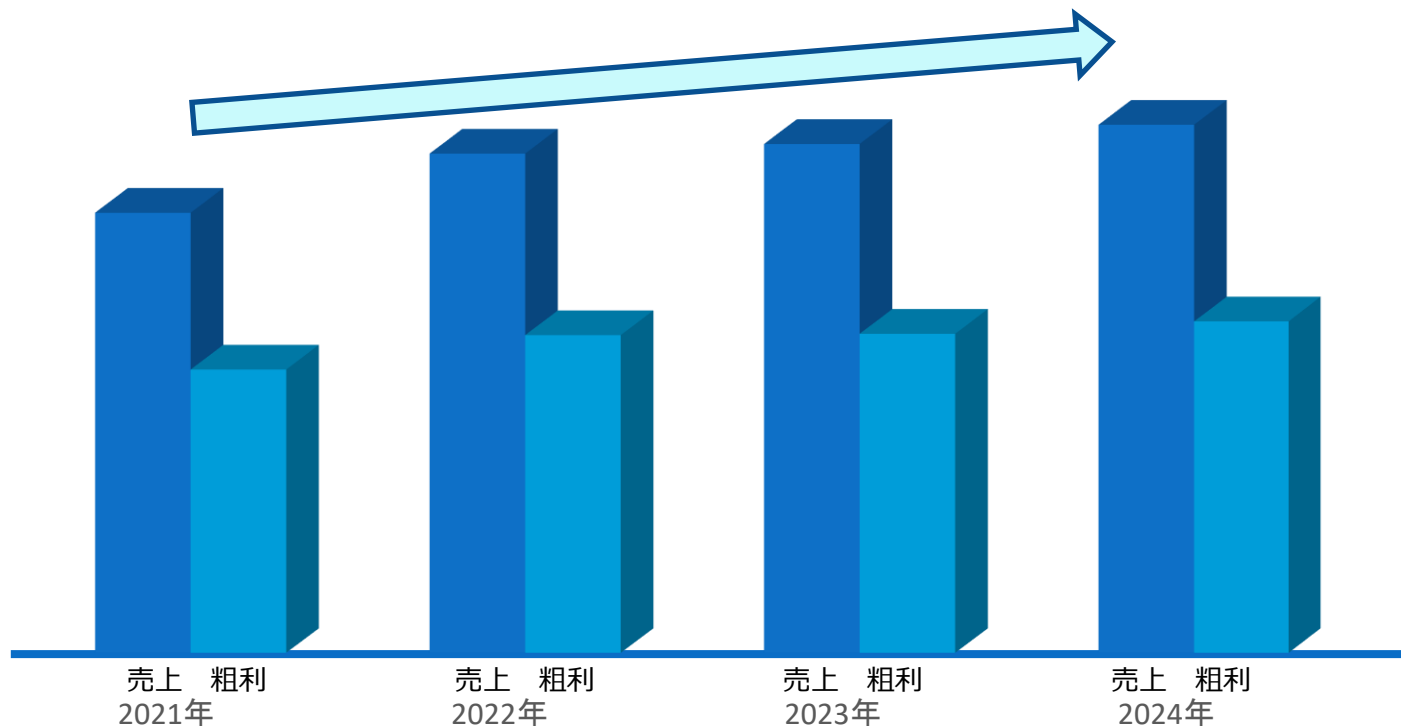


◆肥料製品



◆グローバルでの製品展開による拡大予測

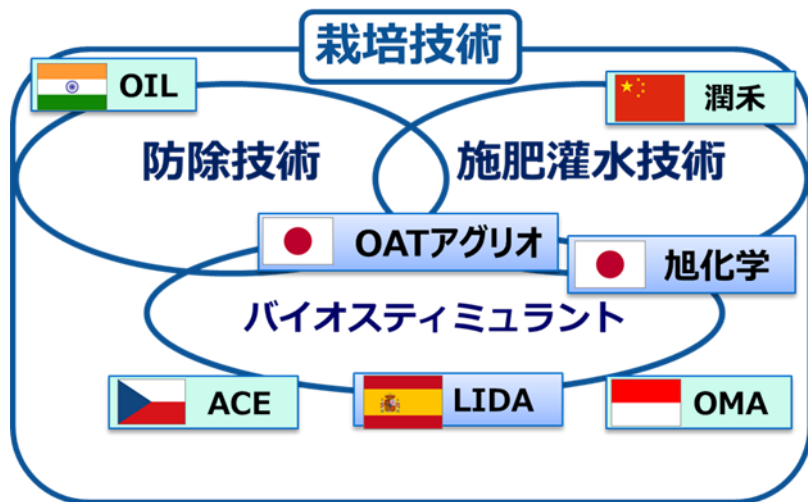
2021～2024年売上・粗利推移予測



海外販売

21年実績 vs. 24年計画
売上 120% **粗利 117%**

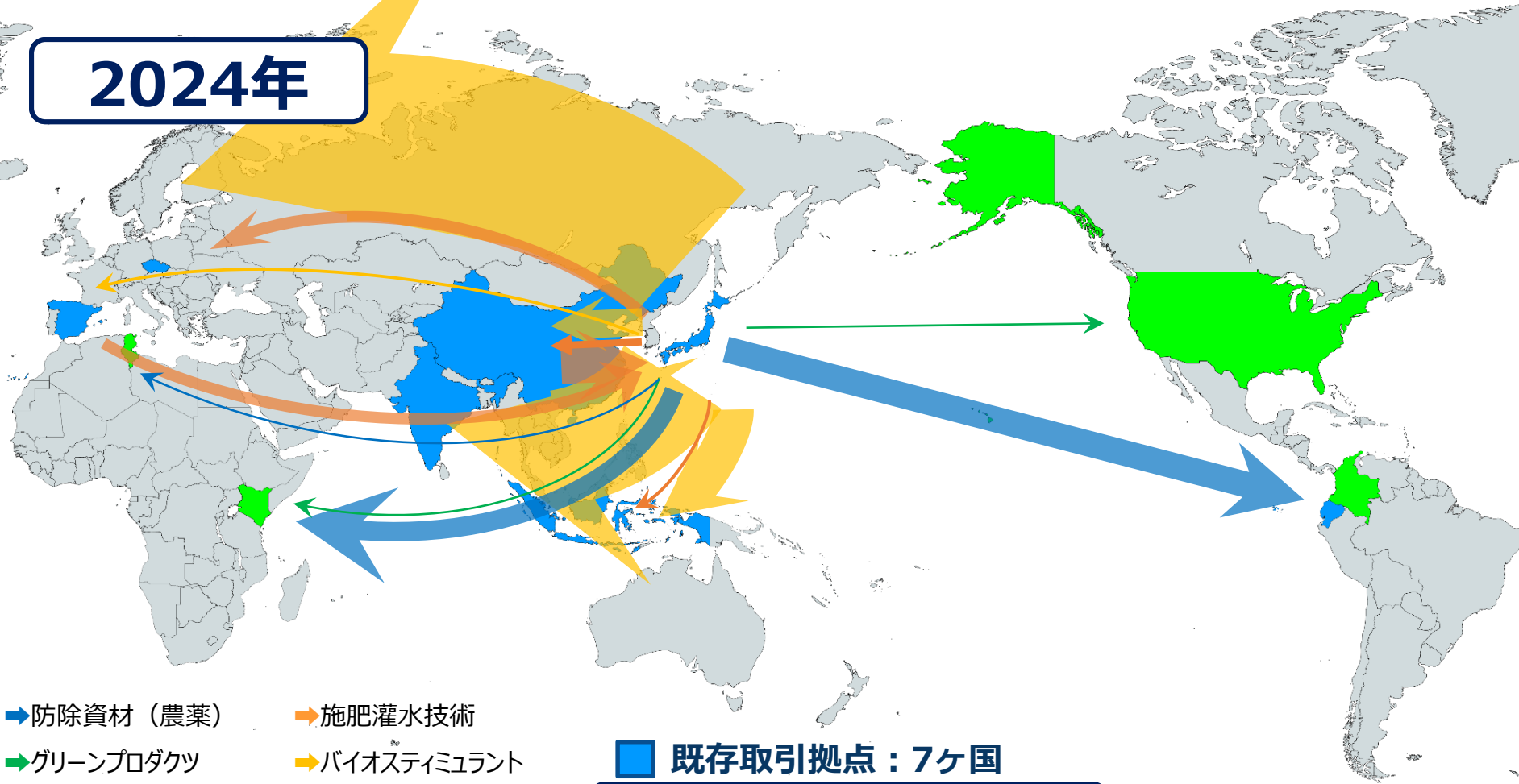
◆農業バリューチェーンにおけるOATグループの関わり



“播種”から“消費者”まで『アグリテクノロジー』でカバーします。

◆グループシナジー【2020-2024年比較】

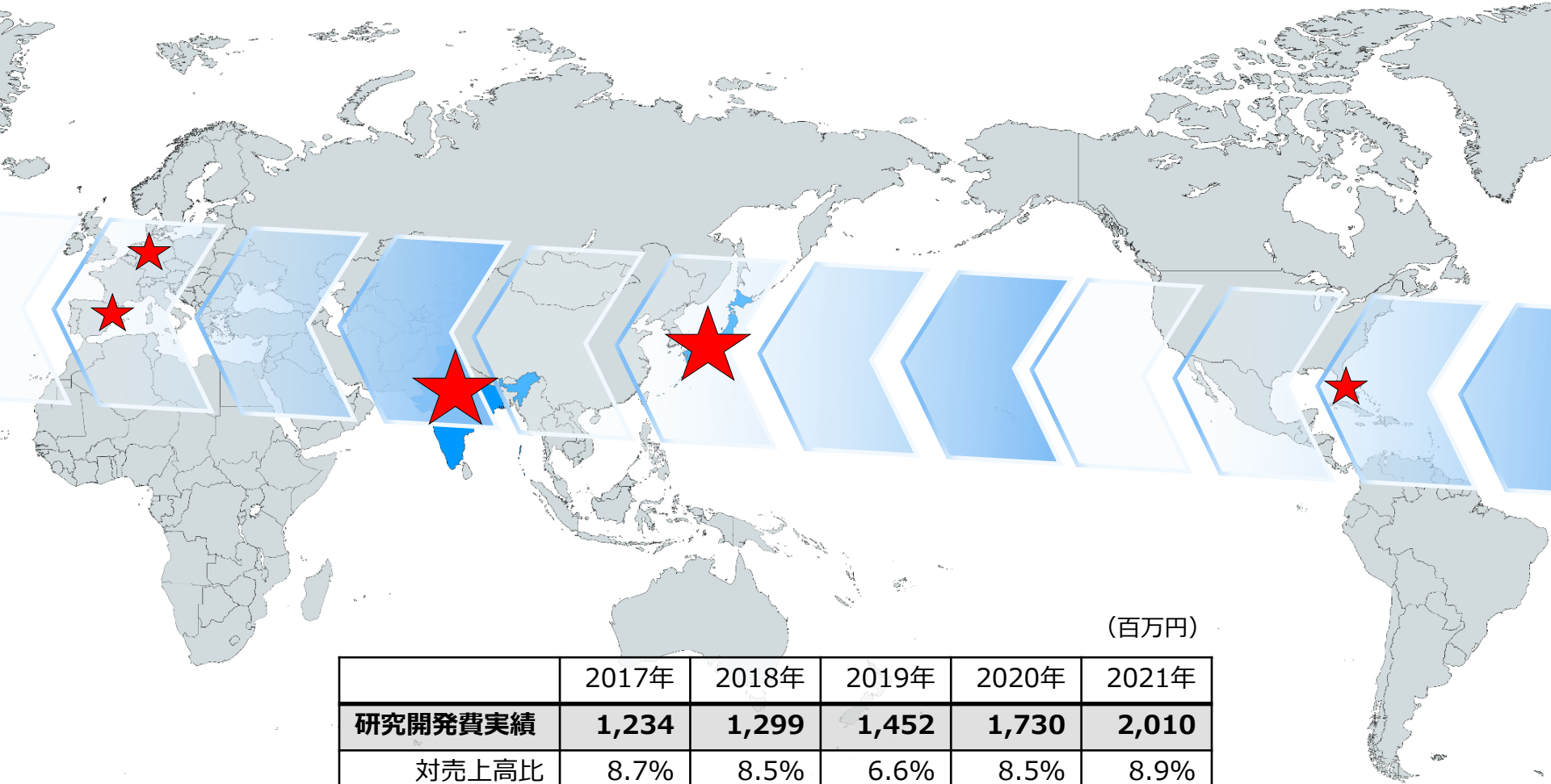
2024年



Created with mapchart.net

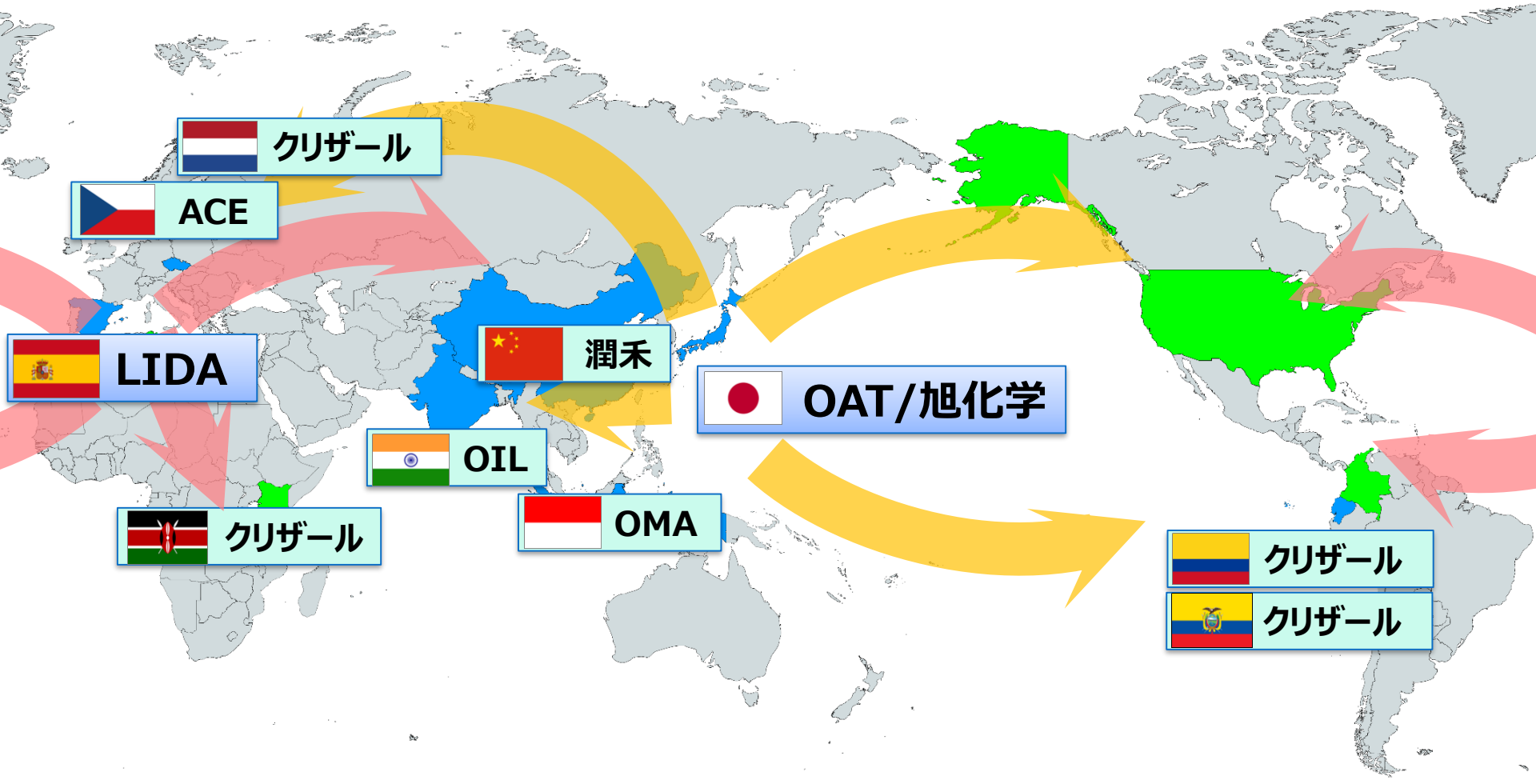
グループ各社の製品・販売拠点の強みを生かしたグローバル展開
 売上：191% ↗

◆OATアグリオグループ グローバル研究体制



**世界5拠点にてグローバルな視点で研究開発を加速
売上高の10%を目安に研究開発に投資**

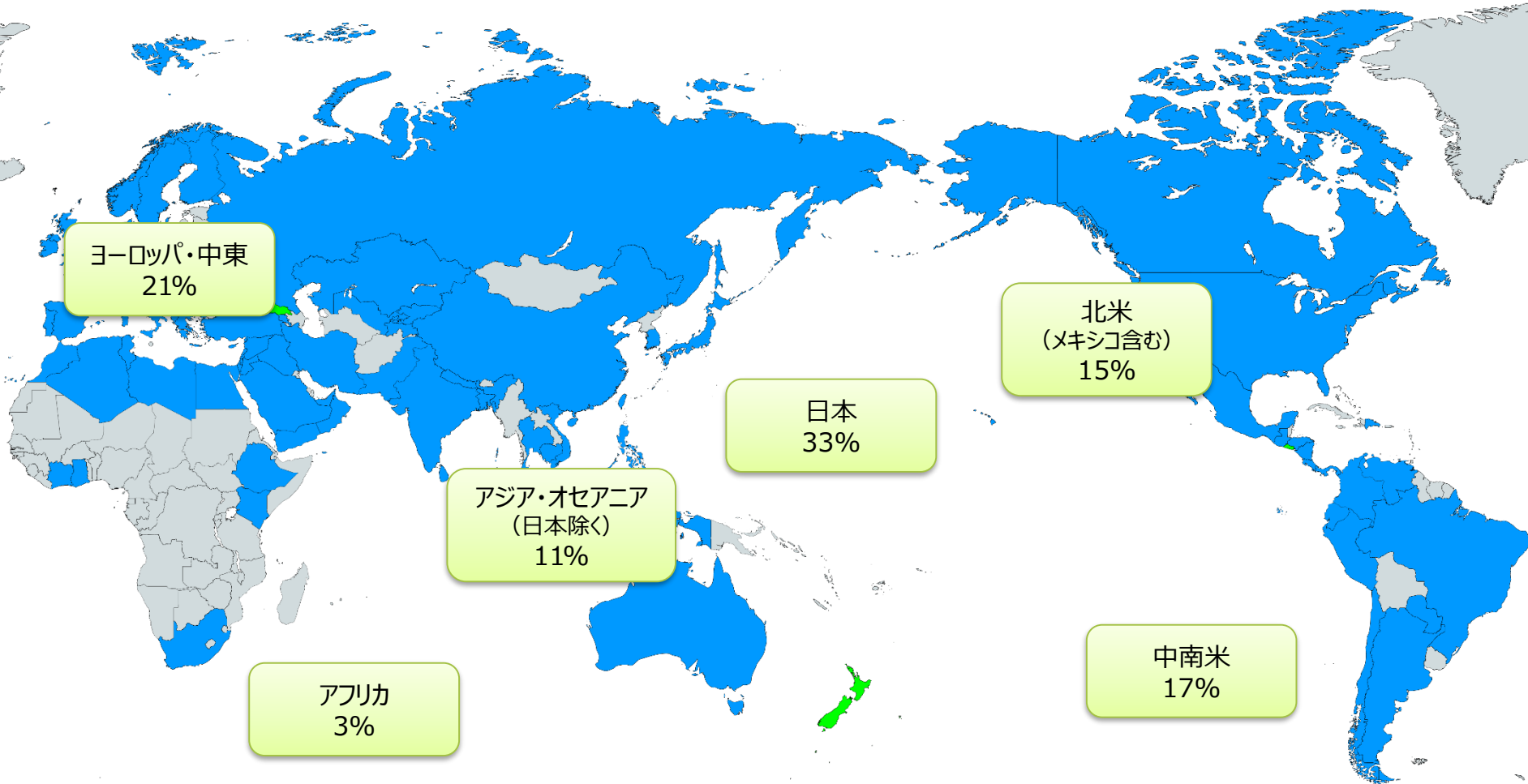
◆バイオスティミュラント製品のグローバル展開



Created with mapchart.net

日本・スペイン発の製品をグローバルに展開

◆ 海外市場への取組み エリア別比率



Created with mapchart.net

五大陸（既販売国：89ヶ国）で展開

◆ OATアグリオは“栽培の楽しさ”を世界に発信します。

コロナ禍において、家庭での滞在時間が増えた消費者の皆さんに対して、社員が自ら栽培に取り組むことで、家庭園芸や家庭菜園の楽しさを発信します。

家庭でも手軽に楽しく野菜や花が栽培できることや、育てる楽しさ、収穫の楽しさ、食べる楽しさをお伝えしたいと考えます。



◆新規ビジネスへの挑戦

◆OATアグリオは新たなD2Cビジネスに挑戦します。

より簡単に楽しく栽培できるノウハウを、SNSを通して発信するとともに、OATのECサイトにて栽培に必要な資材を販売致します。

ワンストップで必要な資材を揃えることができ、SNSやWebサイト上で栽培のやり方をお伝えすることで、双方向のやり取りをしながら、新たなビジネスモデルに挑戦し、巣ごもり需要を開拓します。



The screenshot displays the OAT Aglio website interface, which is designed for gardening enthusiasts. The main banner features fresh vegetables and promotes a subscription service for hydroponic growing sets, priced at 980 yen (plus shipping) with a 580 yen introductory offer. The site includes a category menu with images of various gardening activities like planting, watering, and using fertilizers. A 'Gardening Calendar' section is visible, divided into seasons: Spring (March-May), Summer (June-August), Autumn (September-November), and Winter (December-February). The footer contains social media links for Facebook and Twitter, along with a small promotional message about gardening fun and product quality.

◆ 企業文化の構築と新規ビジネスへの挑戦

◆ コロナ禍での巣ごもり需要の開拓

『企業理念』
アグリテクノロジーと真心

既存ビジネス

増収
安定生産
品質改善



生産者

農業就業人口：168.1万人
平均：67歳

『企業理念』 + 『企業文化』
アグリテクノロジーと真心
栽培の楽しさを発信

新規D2Cビジネス

育てる楽しさ
収穫の楽しさ



美味しい楽しさ
綺麗な楽しさ

家庭園芸・家庭菜園

農園・市民農園：360万人

◆ ESG経営

当社グループは、ESG経営を通して、サステイナブルな社会を構築していく事に貢献出来る事業活動を進めてまいります。

当社グループの企業活動そのものが、SDGsへの取組みであり、更に事業の持続可能性向上を図るために、下記取組みを開始します。

◆ 当社グループの今後の取組

◆ TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の対応（2022年3月）

- ・ 気候関連のリスクと機会が財務に及ぼす影響について精査、検証
- ・ コーポレートガバナンス・コードへの反映

◆ カーボンニュートラルへの対応

- ・ GHG（温室効果ガス）の排出量算定、削減目標の設定

◆ OATアグリオグループ『サステナビリティレポート』作成（2022年3月）

◆ ESG経営/CSR：重要課題と実施項目

ESG	重要課題	KPI
E Environ- ment	廃棄物低減とリサイクル	廃棄物・プラスチックゴミの削減、生産ロスの低減、工業用原材料のリサイクル実用化
	再生可能エネルギーの利用・温室効果ガスの低減	再生可能エネルギーの利用促進
	排気・排水管理	工場における水消費・排水管理
S Social	労働環境	職場の安全性・無事故
	製品の品質	品質保証体制の強化
	人事	新しい働き方と評価制度の策定、女性活躍推進法の遵守と推進
	人事育成・人材開発	資格取得サポート、テーマ別研修
	サプライチェーン・マネジメント	物流システム構築、責任ある原材料調達
G Gover- nance	コーポレート・ガバナンス	ガバナンス・内部統制の強化、情報開示による経営の透明性、ステークホルダー・エンゲージメントの推進
	リスクマネジメント	IT統制
	コンプライアンス	コンプライアンスの推進、ISO9001品質マネジメントの維持・更新

OATアグリオグループにおいて“環境保全”や“ダイバーシティー”など、ESG経営に積極的に取り組んでおります。

◆SDGsへの取り組み

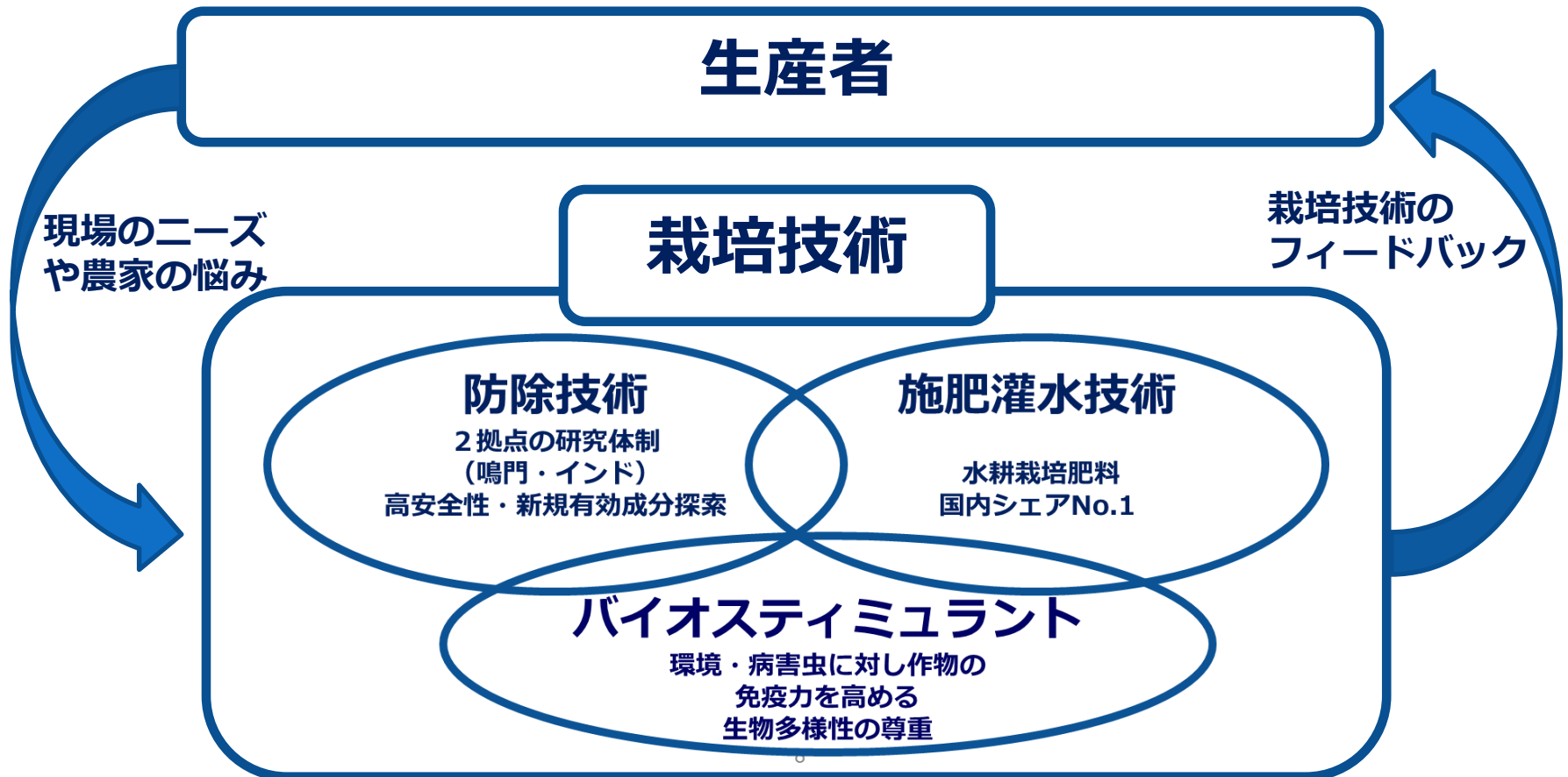


OATアグリオグループの企業活動そのものが、SDGsの取り組みである。

『アグリテクノロジー』を普及させることが
 “環境保全”・“資源効率の改善”・“飢餓撲滅”に繋がる。

◆OATアグリオの役割

OATアグリオグループは、『企業理念』を実現するために、『栽培』を通して世の中に広く『アグリテクノロジー』を、普及させます。



◆OATアグリオの目指す姿



アグリテクノロジーを世界に普及させるために
社員自らも栽培に挑戦する会社



◆企業理念と企業文化

『企業理念』

食糧増産技術(アグリテクノロジー)と真心で
世界の人々に貢献します。

『企業文化』

栽培の楽しさ・難しさを自ら体験
世界に発信する。



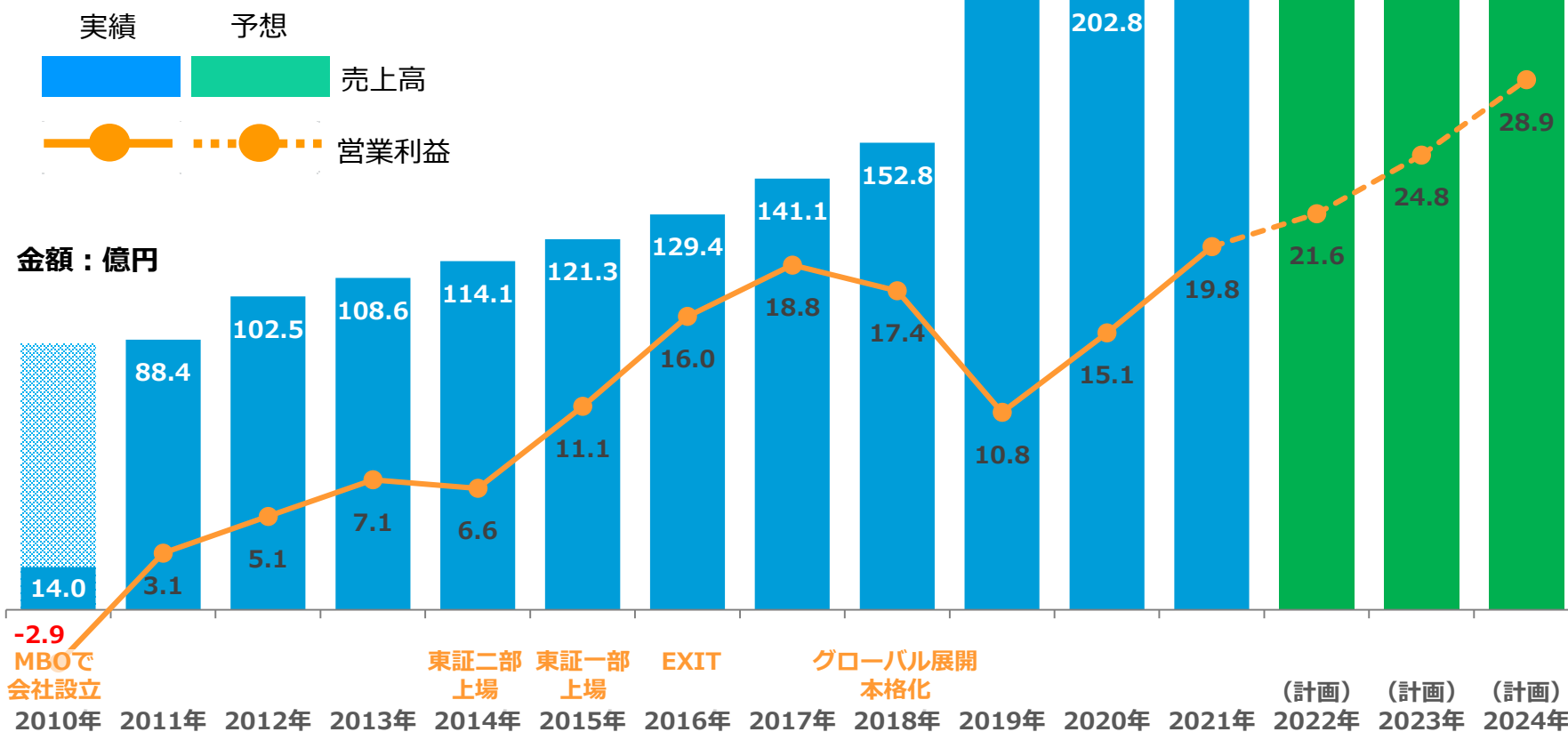
『理念の実現』

栽培を通してアグリテクノロジーを普及させることで
人や環境に優しい持続可能な農業に貢献し
『環境保全』 『資源効率の改善』 『飢餓撲滅』 を実現します。

◆2010～2024年売上高・営業利益推移

2011-2024年 売上高年平均成長率（予想） 8.5%

2011-2024年 営業利益年平均成長率（予想） 18.7%

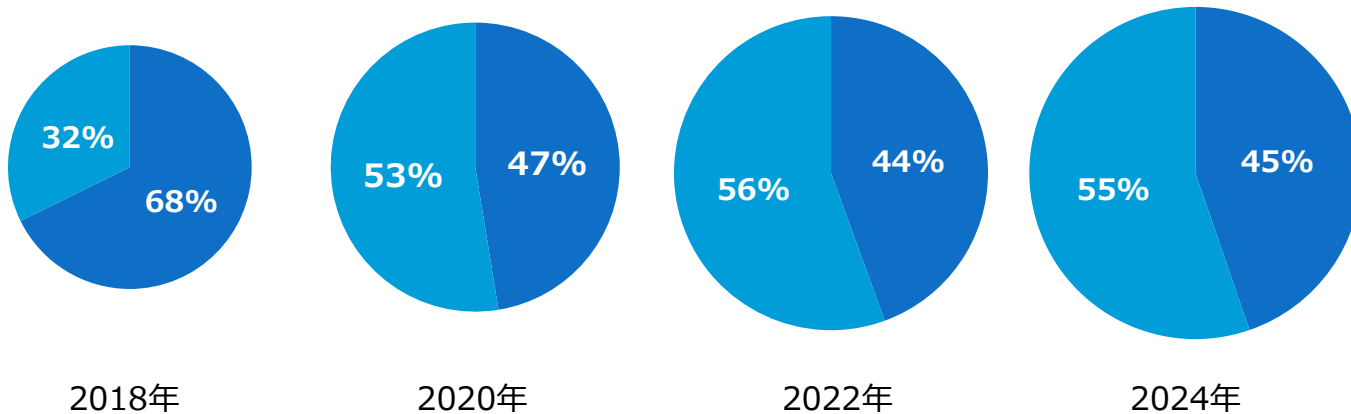
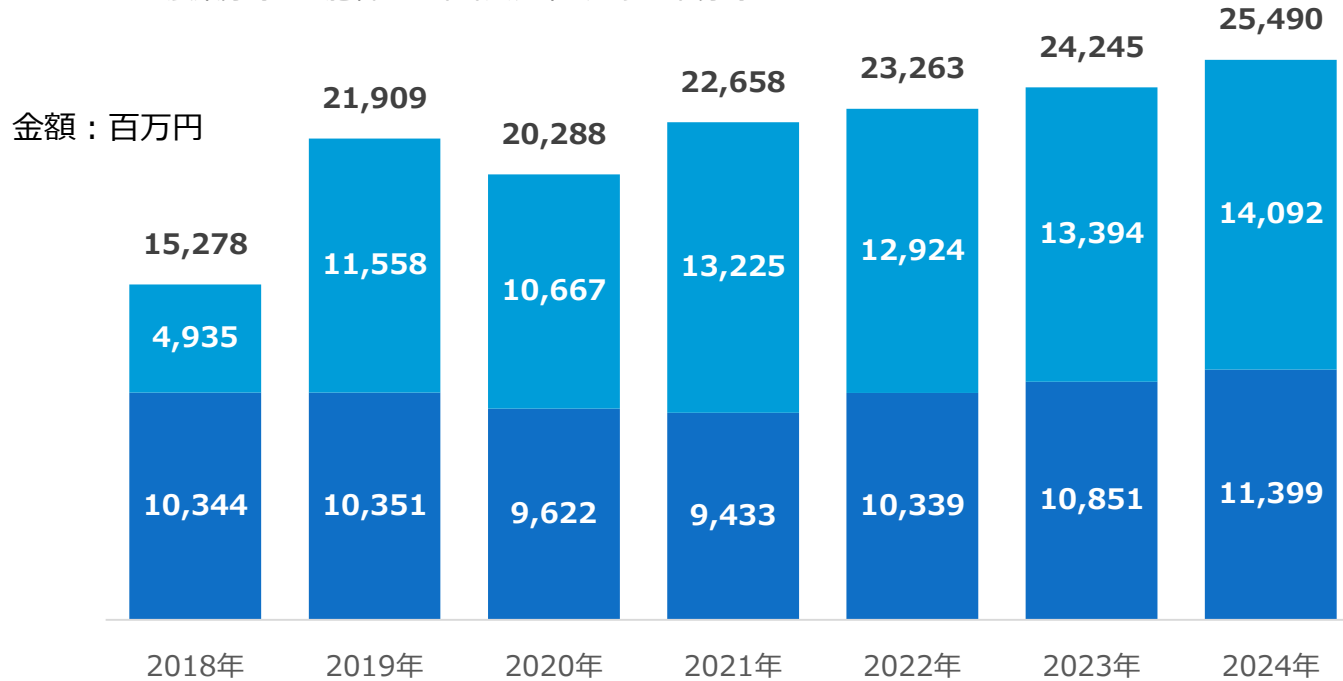


創成期
2010～2017年

拡大期
2018～2024年

◆ 農薬分野と肥料・バイオスティミュラント分野

■ 農薬分野 ■ 肥料・バイオスティミュラント分野



◆本資料の取扱いについて

- 本書には、当社及び当社グループに関する見通し、将来に関する計画などが記載されております。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。